

1 . 調 査 報 告 概 要 表

【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成 2 1 年 7 月 9 日

【評価実施概要】

事業所番号	2 7 7 0 1 0 3 2 9 5
法人名	社会医療法人 生長会
事業所名	ベルアモールハウス
所在地	堺市中区深井畑山町 2 1 1 番地 (電 話) 0 7 2 - 2 7 7 - 7 7 1 1

評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺 1 丁目 1 番 5 4 号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 2 1 年 6 月 2 6 日

【情報提供票より】(平成 2 1 年 5 月 1 日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 1 3 年 5 月 1 日		
ユニット数	4 ユニット	利用定員数計	2 4 人
職員数	1 8 人	常勤 1 2 人, 非常勤 6 人, 常勤換算	1 7 . 5 人

(2) 建物概要

建物構造	鉄骨 A L C 造り		
	3 階建ての	2 階 ~	3 階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃 (平均月額)	7 3 , 5 0 0 円	その他の経費 (月額)	円
敷 金	有 (円) ⑧		
保証金の有無 (入居一時金含む)	⑨ (2 1 0 , 0 0 0 円) 無	有りの場合 償却の有無	⑩ / 無
食材料費	朝食	円	円
	夕食	円	円
	または 1 日当たり 1 , 0 0 0 円		

(4) 利用者の概要 (平成 2 1 年 5 月 1 日現在)

利用者人数	2 3 名	男性 1 名	女性 2 2 名
要介護 1	4 名	要介護 2	5 名
要介護 3	1 0 名	要介護 4	2 名
要介護 5	2 名	要支援 2	0 名
年齢	平均 8 6 歳	最低 7 1 歳	最高 9 5 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	ベルランド総合病院、西尾歯科医院
---------	------------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

社会医療法人が経営するグループホームで、管理者は医師を兼任しています。ホームは 4 ユニットあり、1 ユニット 6 名でアットホームな雰囲気になっています。利用者をパートナーとして尊厳を持って接し、地域と家族とともに支え合うケアを実践しています。「利用者や家族の介護に対する意向」について聞き取りを行い、利用者一人ひとりの思いが全職員に伝わってケアに生かせるようになっており、家族の満足度も高いホームです。安心できる環境が利用者の元気の源になっています。他のグループホームとも交流を行い、実習生や研修生を受け入れるなど、リーダー的な役割のホームです。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況 (関連科目：外部 4)
	前回評価での改善課題は介護計画書の様式についての 1 項目でした。前回の評価結果については改善計画を作成し、介護計画の見直しを行っています。「家族の介護に対する意向」ファイルを作り、日常生活から趣味嗜好まで利用者の思いを聞きとり、介護計画に反映しています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目：外部 4)
	全職員が自己評価を行い、また外部評価の意義を理解するように取り組んでいます。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目：外部 4, 5, 6)
	運営推進会議については、規程を作成し 2 ヶ月に 1 回開催しています。会議には老人会会員・区の地域包括支援センター職員・民生委員・他のグループホーム職員・利用者家族等が参加し、事故・インシデント報告、行事・研修・職員の交代等についての報告や意見交換をしています。会議で出た意見は詰所会議でも検討し、サービスの向上に努めています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目：外部 7, 8)
	家族が面会に来られた時や電話の機会に、日頃の様子を報告しています。健康状態に異変のあるときは電話で伝え相談しています。金銭管理については、個別の金銭出納帳に領収書を保存し、明細を記入しています。定期的に、確認サインをもらい領収書を渡しています。毎月の「ハウス便り」には行事報告と予定・お知らせ・職員紹介等を掲載しています。担当職員から家族へのメッセージ記入欄があり、それぞれにコメントを記入して配布しています。家族会を開催し、質問や意見・要望等を家族からホームへ伝えています。運営推進会議にも家族の代表が参加し、意見、不満、苦情が表出できるようになっています。ホーム内には意見箱も設置しています。
重点項目④	日常生活における地域との連携 (関連項目：外部 3)
	夏祭りや地蔵盆に利用者と職員が一緒に参加し、地域の方々と交流しています。ホームで購読している新聞を地域の子どもの会の廃品回収に出したり、道路管理者からの依頼を受け、アドプトロードに花を植えて管理や清掃をしたりするなど、地域の活動にも積極的に取り組んでいます。

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外 部	自 己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期 待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続ける ことを支えていくサービスとして、事 業所独自の理念をつくりあげている	法人の理念を基に、「地域と家族様を共に支 えるケアを実施します」「パートナーの尊厳 を守ります」とホームの独自の理念を作り上 げ、ホーム内に掲げています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念 の実践に向けて日々取り組んでいる	理念はユニットの入口と詰所に掲示し、リー ダー研修や管理者研修で伝えており、朝礼で も復唱し話をしています。日々のケアにも活 かしています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員 として、自治会、老人会、行事等、地 域活動に参加し、地元の人々と交流す ることに務めている	夏祭りや地蔵盆に利用者と職員が一緒に参加 し、地域の方々と交流しています。ホームで 購読している新聞を地域の子ども会の廃品回 収に出したり、アドプトロード（大阪府と関 係市町村が支援し、三者が協力して地域に愛 されるきれいな道路づくりや地域の環境美化 に取り組むこと）に花を植えて管理や清掃を したりするなど、地域の活動にも積極的に取 り組んでいます。中・高生の体験学習も受け 入れています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	全職員が自己評価に参加し、外部評価の意義を理解するように取り組んでいます。前回の外部評価結果について、改善計画を作成し、介護計画の見直しについて検討を行いました。外部評価の勉強会も実施し、受審の意義を職員間で共有しています。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議については、規程を作成し2ヶ月に1回開催しています。会議には老人会会員・区の地域包括支援センター職員・民生委員・他のグループホーム職員・利用者家族等が参加し、事故・インシデント報告（実際は事故までにはつながらなかった潜在的事例）、行事・研修・職員の交代等についての報告や意見交換をしています。会議で出た意見を詰所会議でも検討し、サービスの向上に努めています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市が開催している「認知症介護実践者研修」の実習施設として協力しています。市の介護相談員を受け入れて、サービスの向上に繋がっています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族が面会に来られた時や電話の機会に、日頃の様子を報告しています。健康状態に異変のあるときは電話で伝え相談しています。金銭管理については、個別の金銭出納帳に領収書を保存し、明細を記入しています。定期的に、確認サインをもらい領収書をわたしています。毎月の「ハウス便り」には行事報告と予定・お知らせ・職員紹介等を掲載しています。行事写真や職員紹介はカラー写真のため、家族等にもわかりやすく、また担当職員から家族宛のメッセージ記入欄があり、それぞれにコメントを記入して配布しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会を開催し、家族からの感謝の言葉とともに、質問や意見・要望等をホーム側に伝えています。家族の代表が運営推進会議にも参加し、意見、不満、苦情が言えるようになっています。家族会や運営推進会議の議事録が作成され、全職員が確認しサインをして、運営に反映させています。また意見箱も設置しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は最小限に抑えるように努めています。新しい職員が入ったときは、利用者や家族に紹介し、「ハウス便り」でも紹介しています。新しい職員には新人研修マニュアルにそって、マンツーマンで指導しています。丁寧な人材育成が定着率のアップにつながっています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	同法人の老人保健施設と合同で「年次別研修」や「トピックス研修」に参加しています。非常勤職員も外部研修に参加できる機会を設けています。毎月の詰所会でも勉強会を実施しています。非常勤職員も含め、資格取得やステップアップのための支援に積極的で、資格取得後は給与に反映されています。法人全体として、「人は宝」という思いから研修に力を入れています。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪認知症高齢者グループホーム協議会に加入し、20年度も2ヶ所のグループホームと交換研修を実施しています。他のグループホームと相互訪問して、サービスの質を向上させる取り組みをしています。今年は、区のグループホーム協議会に7月から参加する予定です。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	本人や家族がホームを見学してもらうことから始め、利用前には自宅を訪問し、その人の暮らしぶり等、生活状況の把握に努めています。空き部屋がある際はショートステイとして利用開始し、ホーム内の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族と相談しながら工夫を行い、入居された方もいます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は日々の関わりの中で、敬語の使い方や歴史、料理の手順や味付け等を利用者から教えてもらい感謝を伝えています。新聞取り・食事作りや配膳・野菜の水やり等、利用者と一緒に生活を大切にしています。日帰りで温泉に行き、利用者と一緒に温泉に入り楽しい時間も共有しました。職員と交換日記をしている利用者もあり、お互いの思いを共有し支え合っています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族から意向を聞き取り、「家族の介護に対する意向」ファイルを作成しています。長年馴染んだ生活や好み（炊事・洗濯・掃除・買い物・排泄・入浴・嗜好・音楽・テレビ・ラジオ・興味・関心・趣味・おしゃれ・色の好み）等を一人ひとりの意向を聞き取り記入しています。業務日誌にも利用者の意向を記入し、支援しています。日々の生活での気づきや情報は申し送りやカンファレンスで検討しています。少しの気づきでも全職員が把握できるように「情報共有用紙」を活用しています。1ユニット6人であるため、利用者一人ひとりに対する係わり合いが充実しており、その結果、利用者は元気で自立した生活を送っています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	平成21年4月より、大阪認知症高齢者グループホーム協議会版のアセスメントツールを利用し、本人や家族の希望や意向を記入しています。月1回の総合カンファレンスに家族、管理者、同法人老人保健施設の医師、看護師、理学療法士、作業療法士、支援相談員が参加し、その意見を参考にして、介護計画を作成しています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヶ月毎に介護計画を見直しています。状態が変化し、歩行困難になった際や退院してきた時等、状況に応じて検討や見直しを行っています。詰所会議で出た意見を介護計画に反映させています。また週間評価も実施しています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	事業所は、地域住民に向けて介護教室を開催しています。医療連携体制を活かして利用者の通院支援、美容院への付き添いなど、生活継続のための支援をしています。入院した利用者の早期退院に向けての支援もしています。また、空き部屋があるときは、ショートステイとして居室を提供しています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	協力病院の医師や主治医との協力があり、適切な医療が受けられるように支援しています。家族が病院での受診に付き添えない場合は職員が付き添い事後報告をしています。自宅近くの開業医に通っている利用者には、必要に応じて職員が同行しています。夜間や緊急時には、同法人老人保健施設の看護師や医師に繋げることができ、利用者も家族も安心です。管理者が医師であることが家族にとって最大の安心感となっています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	家族へ医療に関する意向調査を行い、ターミナルケアについても話し合っています。過去にはターミナルケアを受けた利用者が数名います。ホームとしてできること、できないことについて見極め、ホームとしての方針をたてています。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いに関する規程が整備されているとともに、個人情報や人権について注意が払われおり、利用者の人格を尊重し、プライバシーを大切にされた声かけや対応をしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の流れはありますが、本人の趣味や好みを優先し、利用者の生活に職員が合わせています。毎週、教会へ家族と一緒に行く利用者もいます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事作りや片付けは個々の能力に合わせて一緒に行い、盛り付け、お茶入れ、配慮・下膳等は支援しています。材料は全ユニット一緒ですが、利用者の好みで盛り付けや切り方はユニット毎に違いがあり、主体性に繋がっています。職員は食事中もさりげなくサポートしながら一緒に摂り、楽しい時間を共有しています。利用者は食後、自身で使用した食器を片付け、洗っています。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	基本は2日に1回の入浴になっていますが、本人の希望により毎日入浴する利用者もいます。入浴を好まない利用者には、気持ちよく入浴できるように無理強いせず、時間や日、声かけする職員を変えるなどの工夫をしています。また利用者が安心して入浴を楽しめるように支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者の希望を聞き取り、食事作り、畑の水やり、新聞取り、生け花、習字、絵を描く、ぬりえ等、それぞれの利用者が生活に意欲を持って暮らせるように、働きかけと支援をしています。また、敷地の一角や屋上で野菜作りができるように取り組んでいます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や季節を肌で感じてもらうために日常的に散歩や買い物に出かけています。グループに分かれて花見、温泉、公園、外食等にも出かけています。毎年、楠木正成の命日にあたる5月25日に金剛山へ登っていた利用者の話をきっかけに、金剛山ハイキングが実現しました。利用者の退居後もハイキングは続いており、家族も参加しての行事になっています。また、日帰りや一泊で温泉に出かけています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ユニットの玄関は日中、開錠しています。居室から、バルコニーには自由に出ることができます。鍵をかけないことによって予想されるリスクについては家族に説明を行い、記録に残しています。身体拘束はありません。		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時対応マニュアルを作成し、消防署による訓練も年2回実施しています。非常時はベランダの階段から避難できます。非常用食品や備品は、併設施設と共有で保存していますが、今後はグループホームとしての管理と点検が望まれます。		

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一 日を通じて確保できるよう、一人ひと りの状態や力、習慣に応じた支援をし ている	利用者の食事は主食と副食に分けて記録 し、摂取量を把握しています。水分摂取の必 要な利用者には水分量を記録し、1日の合計 摂取量も出しています。毎月体重を測り、太 り気味の利用者には、見た目に多くなるよう に盛り付け等にも工夫しています。栄養バラ ンスについては、同法人の給食センターの栄 養士によるカロリー計算をしています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、 食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にと って不快な音や光がないように配慮し、 生活感や季節感を採り入れて、居 心地よく過ごせるような工夫をしてい る	玄関には、利用者の生け花が置かれ、リビ ングには、ゆったりとくつろげるソファやマ ッサージ機、その他オルガンやテレビがあり、 新聞はユニット毎にしています。ホーム内 は明るく、不快な音もありません。窓からは 近くの畑や遠く建物が見え、心地よく過ご せる空間になっています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や 家族と相談しながら、使い慣れたもの や好みのものを活かして、本人が居心 地よく過ごせるような工夫をしている	居室入口には、利用者の手書き表札がか けられています。居室には、使い慣れたタ ンス、イス、鏡台、机、観葉植物、家族の 写真、手芸品、ぬいぐるみ等が持ち込ま れ、利用者が安心して過ごせるようにな っています。		